



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

企 画
市 民

市民サービス向上について（富士宮市公式 LINE の活用方法について）

問 市内の登録人数について、また、目標登録人数はあるのか。

部長 登録人数は約3万6千人。1世帯に1人は登録してほしい。本市のおおよそ世帯数である6万人の登録を目指している。

問 デジタルツールに不慣れな層を含む幅広い年代層への周知、メニューの活用方法の周知について。

部長 「広報ふじのみや」への記載、広報課窓口、各種イベントでチラシ配布等で周知。デジタルツールに不慣れな人たちに特化した周知は行っていない。便利に使っていただけるよう周知の必要性は認識している、宮ゼミのスマホ講座の中で公式 LINE の紹介や便利な活用方法等のご

案内する時間を設けるなど実施に向けて関係部署と協議していく。

問 市民生活展で高校生に LINE 講座をやってもらうことはできないか。

部長 市民生活展は非常に多くの市民が訪れる。今後、公式 LINE の中身の紹介、使い方、高校生にもお願いできるのか、どうなのかというところも含めて、ブースを作ってやっていきたい。

問 今後、メニューに取り入れたい項目はあるのか。

部長 今は考えていることはないと答弁したが、高齢者の見守り機能みたいなものも LINE にあるよう。

こういうのがあったら面白いなというものを検討していきたい。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

総 務
市 民

市役所の窓口の受付業務の時間短縮について

問 窓口業務の受付時間の短縮を検討したことがあるか伺う。

部長 窓口業務の受付時間は、現在いずれの窓口においても開庁時間と同じ午前8時30分から午後5時15分までと市民に浸透している。受付時間を変えることは市民サービスに与える影響が大きく、クリアすべき課題も多いことから、これまで検討したことはない。

問 受付時短が職員の働き方にどのような効果をもたらすと考えるか伺う。

部長 市民課では午前8時30分に受付を開始するための準備として30分程度の時間を要するので時間外勤務による業務として対応している。閉庁間際に来られたお客様への対応も時間外勤務とならざるを得ない。こういった状況は市民

課に限ったものではない。窓口業務の受付時間が短縮された場合、時間外勤務の削減につながると考える。また打合せなどに集中できる時間を生み出すことができれば、業務の効率化や市民サービスの向上などにもつながることが期待される。



意見 時間外勤務が減ればワークライフ・バランスが改善され、職員の幸福度を高めることが期待できる。いい方向に進めて欲しい。

友好交流関係都市との都市交流の派遣先に台南市を加えることについて

問 中学生、高校生の派遣先に台南市を提案するがいかがか伺う。

部長 「富士宮市の未来を担う高校生人材育成事業」は産業分野等の発展が著しい海外都市を派遣先の条件としている。友好交流関係都市の台南市においては世界屈指の半導体デバイスを生産する工場も存在するなど、技術革新に触れることが可能。今年度の当事業の派遣先は台南市及びその近郊として実施していく。